**「とうしんろく」トークセッションのしおり**　　　　　　　　　　　（0527修正版）

**ごあいさつ**

ようこそ「とうしんろく」トークセッションへ。

「とうしんろく」（東北大学震災体験記録プロジェクト）とは、東北大学に関わるさまざまな人々がどのような形で被災し、現在までの時間を過ごしてきたのかを語り合い、記録し、後世に伝えていくことをめざすプロジェクトです。5月になって授業も再開し、私たちは再びこのキャンパスに集い、以前と変わらない日常がとりもどされつつあるようにも見えます。しかしこの数か月私たちは、震災という非日常的事態に否応なく向き合い、その中で自分なりに考え、判断し対応してきました。これらの個別的経験をこの時期に語り合い、記録することは私たち自身にとっても、そして社会的にも大きな意義をもつと考えます。「とうしんろく」では当面今回のようなトークセッションを週二回開催し、より多くの、多様な方々の経験をうかがっていきたいと考えています。どうぞ今後とも「とうしんろく」へのご協力をよろしくお願いいたします。

**◆トークセッションについて**

「とうしんろく」トークセッションでは、東北大学に関わりを持つみなさんが今回の震災にどのように出会い、直接・間接にその影響を受けながらどのように生き、何を考えたかを気楽にお話しいただければと思います。みなさんの体験を自由に語っていただいてかまいませんが、ひとつの目安として次のようなテーマをあげておきます。また、わたしたちの共通項である「東北大学」が、具体的にはその人脈や制度などがあなたの行動に与えた影響について触れていただくと、わたしたちが体験を共有する手がかりとなるのではないかと思います。無理のない範囲で言及していただけますとうれしく思います。

**１．**地震にあったときの状況、行動。

**２．**寝場所、水、食料をどう確保したか。ライフラインの状況。

**３．**（避難・移動をした方）いつ、どこへ、どんな手段で。

**４．**役に立ったもの、役に立たなかったもの。

**５．**東北大学（仙台）へ戻ってきた時期、経緯。

**６．**その他、経験したこと、気づいたこと。

**◆フェイスシート提出のお願い**

私たちは今日お話しいただいたような震災体験をより多く、より広範な人々と共有できるような形で記録・公開することが社会的に大きな意義をもつと考えています。公開の方法については目下模索中ですが、ウェブサイトや最終的には出版といった形を考えております。配布のフェイスシートは、その作業を確実におこなうためのものですので、記入へのご協力よろしくお願いいたします。

**１．**お名前、所属、連絡先等を、可能な範囲でご記入ください。なお、ご協力いただいた方の個人情報は、厳重に管理し、ご本人の同意がない限り第三者には提供いたしません。また、公開にあたっては原則的に匿名とし、個人が特定されないよう配慮いたします。

**２．**公開の可否について、欄の□にチェックをいれてください。なお、公開する場合には改めてご連絡を差し上げ、原稿のチェックをお願いいたしますので必ず連絡先をご記入ください。

連絡先　　高倉浩樹（東北アジア研究センター教員）、木村敏明（文学研究科教員）795-6020

　 HP: <http://toushinroku.blog.fc2.com/> E-Mail: toushinroku@gmail.com